

2022年ランチェスター戦略学会第14回研究大会

<基調講演>

真野 俊樹(まの としき)

中央大学大学院戦略経営研究科教授 医学博士、経済学博士、総合内科専門医

テーマ:レジリエンスの視点で医療問題を考える

名古屋大学医学部卒。臨床医、製薬企業のマネジメントを経て、コーネル大学医学部研究員、レスター大学大学院でMBA、京都大学で経済学博士を取得。国立医療・病院管理研究所協力研究員、多摩大学医療リスクマネジメント研究所教授等を歴任。現在、名古屋大学未来社会創造機構客員教授、東京医療保健大学大学院客員教授、北大認定ベンチャーミルウス監査役、厚生労働省独立行政法人評価委員会(審議会)委員などを兼務し、「医療・介護業界をマネジメントやイノベーションの視点で改革する」ことを目指しています。

なお、日本の医療は欧米と比較しても悪くないのに社会の評価が低いのは、コロナ禍でもみられたように、変化に弱い、すなわちレジリエンスが低いからです。そこで、今回は、レジリエンス及び国際比較の視点で日本の医療の今後の課題を提起し、ランチェスター戦略にも少し触れたいと思います。ちょっと特殊な分野ですが、あらかじめ写真の著書を読んでいただくと理解が増すと思います。



真野先生関係URL

アマゾン 真野俊樹先生作品一覧

https://www.amazon.co.jp/%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%8D%E3%82%B9%E3%83%BB%E7%B5%8C%E6%B8%88-%E7%9C%9F%E9%87%8E-%E4%BF%8A%E6%A8%B9-%E6%9C%AC/s?rh=n%3A466282%2Cp_27%3A%E7%9C%9F%E9%87%8E+%E4%BF%8A%E6%A8%B9

<研究報告1>

福田 秀人(ふくだ ひでと)

福田経営代表、ランチェスター戦略学会副会長

テーマ:

アメリカ陸軍戦闘指揮官マニュアルに学ぶレジリエンスの原則と方法

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了後、会社役員や事業コンサルタントとして経営戦略や危機管理に関わり、立教大学大学院教授、横浜国立大学・慶應義塾大学等の非常勤講師などもつとめ、『ランチェスター思考：競争戦略の基礎』東洋経済新報社などの著書、論文をだしてきました。また、海上自衛隊の一等海佐のなかから特別に選抜された最高幹部候補者を対象とする「海上自衛隊幹部学校幹部高級課程の第四教官室(指揮統制)」の講師を19年にわたってつとめ、そのさい研究した「アメリカ陸軍の戦闘指揮官マニュアル」は、劣勢に追い込まれた部隊が生き残り、優勢を回復するための課題と方法を示すレジリエンス・マニュアルそのものであり、非軍事組織や地域リーダーのレジリエンスの参考にもなる内容でしたので、そのエッセンスを報告します。

引用したアメリカ陸軍マニュアル……

FM3-0.作戦(Operation)

FM5-0.作戦計画と命令の準備(Army planning and orders preparations)

FM6-0.任務指揮:指揮と統制(Mission command-command and control of army force)



福田先生関係URL

アマゾン 福田秀人作品一覧

https://www.amazon.co.jp/kindle-dbs/entity/author/B004ND46SW?_encoding=UTF8&node=2450763051&offset=0&pageSize=12&searchAlias=stripbooks&sort=author-sidecar-rank&page=1&langFilter=default#formatSelectorHeader

<特別講演>

川原 尚行(かわはら なおゆき)

NPO 法人ロシナンテス理事長、長崎大学、熊本大学、九州大学客員教授

テーマ:アフリカ地域医療でのデジタルヘルスの可能性

福岡県立小倉高等学校、九州大学医学部卒、外科医となるも外務省の医務官に採用され7年間をタンザニアとスーダンの在外公館に勤務しました。そして、内戦中のスーダンに我が国からの支援が停止していることを憂慮し、医療支援を行うことを決意し、2005年に外務省を辞し、NPO 法人ロシナンテスを設立し、スーダンで、2019年からはザンビアで活動を展開してきました。東日本大震災では5年にわたって宮城県名取市、岩沼市、亶理町などで支援活動を行いました。

本年、「TICAD8(アフリカ開発会議)サイドイベントを「デジタル母子手帳、デジタル母子登録システム」をテーマに長崎大学及び日本 WHO 協会と共催、「アフリカの薬草からの創薬」を熊本大学と共催するなど、従来型の国際医療支援から、持続可能性を考慮して大学や民間企業を含めての国際医療協力体制への変換を試みっていますが、WHO が提唱し、我が国も推進する UHC(Universal Health Coverage)の実現のためにはデジタルヘルスの導入が不可欠であると考えており、デジタルヘルスの可能性に関して、現在の状況を踏まえてお話しさせていただきます。



川原先生関係 URL

ロシナンテスHP <https://www.rocinantes.org/>

表彰 <https://www.fesco.or.jp/winner/h22/244.php>

講演・報告 TICAD8(アフリカ開発会議)サイドイベント(長崎大学)

Digitalization of Maternal and Child Health Handbooks and Information: Benefits to Mothers and Children and Contributions to Public Health in Africa <http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/ticad8-mch-digital/>

創薬やアフリカ伝承薬活用による健康的かつより良い生活を求めて(熊本大学)

https://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/news_topics/ea4a8679aa138b246ae7d12d8454b04480b0cbc4.pdf

<研究報告2>

矢島克記(やじまかつのり)

株式会社エストレージ 代表取締役

テーマ:

「ミリ単位の高精度オーダーメイド収納家具」に特化し、顧客を名古屋→横浜→東京と西から開拓していった

1979年 岐阜県関市生まれ。家具職人、住宅営業の経験を経て、2007年株式会社エストレージを創業。ミリ単位の高精度オーダー収納家具に特化した専門店「収納ラボ」を展開。自社独自の設計・製造ノウハウを構築し、自由度の高いオーダーメイド収納家具の量産化を実現しました。2020年には、家具・木工業界の発展のため、一般社団法人アーキテリア協会を設立し、収納家具の製造、設計ノウハウの標準化と収納プランナーの育成を進めていますが、15年前の創業以来、ランチェスター戦略をふまえて、商品を「高精度のオーダーメイドの収納家具」に絞り、名古屋、横浜、銀座と、西から東へと拠点展開を行い、段階的にシェアを取ってきました。その概要と、コロナ禍に銀座出店に踏み切った経緯。また、オーダー家具という生産性の低い商品に対し、積極的にシステム、設備への投資を行い独自の生産体制を構築していったことと、その効果などを紹介します。



矢島様関係URL

株式会社エストレージ(収納ラボ)HP <https://www.estorage.co.jp/>

表彰 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000023131.html>

<研究報告3>

福永雅文(ふくなが まさふみ)

戦国マーケティング株式会社 代表取締役 ランチェスター戦略コンサルタント

テーマ:

ランチェスター戦略のコンサル現場報告 新分野への進出と既存事業の深耕

ランチェスター学会常任幹事 ランチェスター協会特任講師

ランチェスター戦略を指導原理に特定市場でナンバー1になる方法を企業に導入するコンサルタント。営業部門ごとに市場シェアを把握し、シェアと売上利益を向上させる目標・戦略・行動計画の策定とPDCAの方法を指導。2005年よりランチェスター協会で講座内容とテキストの責任者を務め、後進のインストラクターの養成も行った。同会の前常務理事研修部長。今回は最新刊「ランチェスター戦略<圧倒的に勝つ>経営」にも書かれたデジタル&コロナ時代のコンサル現場から攻めと守りの戦略事例を報告する。1963年生まれ、99年よりコンサルタント会社経営。



<研究報告4>

鈴木 俊介 (すずき しゅんすけ)
株式会社経営技法 代表取締役社長

テーマ:

レジリエンスを高める未来予測の思考法～不確実な時代に先を読み融通をきかせるには

ユニークブレインラボ®開発者、ランチェスター戦略認定インストラクター

慶應義塾大学法学部政治学科卒、Case Western Reserve 大学院 経営学修士 出光興産、KPMG ビジネスアシュアランス、Kepner Tregoe Japan を経て、2009 年(株)経営技法設立

思考技術＝ものの観方、考え方、考える手順を基軸においたソリューション、ノウハウを設計開発。技術、マネジメント、マーケティング問わず幅広い業務に合わせた、社員の主体性と創造性を引き出す、独自のコンサルティング、及び研修メニューを提供。



ランチェスター戦略学会 会長ご紹介

小泉 徹(こいずみ とおる)

東京都立大学名誉教授、ランチェスター戦略学会会長

1977年慶應義塾大学商学部卒業、1982年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学、1984年愛知女子短期大学専任講師、1986年東京都立商科短期大学専任講師、1987年同助教授、1999年東京都立短期大学教授、2005年首都大学東京(現東京都立大学)教授、2020年東京都立大学名誉教授。

ランチェスター戦略学会会長、日本フードサービス学会理事、日本ダイレクトマーケティング学会監事、経営関連学会協議会評議員。専門分野はサービス・マーケティング。

